

# 八代の宝から世界の宝へ 妙見祭を彩る人たち

「八代妙見祭の神幸行事」がユネスコ無形文化遺産へ登録されたことを記念して、40ある出し物と祭りを彩る人たちの思いを紹介します。



6 白和幣  
しらにぎて



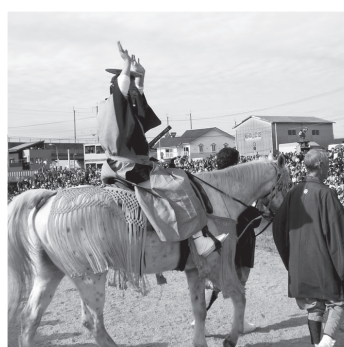
7 籠  
かこ



8 笠鉦 菊慈童  
かさぼこ きくじどう



9 神馬  
しんま



10 神馬奉行  
しんめぶぎよう

白和幣は、もともと江戸時代に妙見宮周辺の老若男女が白い御幣を持って行列に加わっていたものです。明治時代以降、途絶えていましたが、平成10年に絵巻などをもとに復元され、行列に華やかさを添えています。

江戸時代の神仏習合の頃、妙見宮の隣にあった神宮寺の高僧が籠に乗っていたそうです。明治の神仏分離で寺僧の参加が途絶え、籠も行列から消えていきましたが、平成2年に復活し、以後毎年かわいらしい稚児籠が見られます。

笠鉦「菊慈童」は宮之町から出されています。菊慈童は、謡曲「枕慈童」に登場する少年で、人々の不老不死への願いを表しています。神幸行列の中では他の笠鉦の先頭に立ち、天候が悪くても必ず妙見宮までお供する習わしです。

神馬は代々、八代城主の愛馬の中から出されてきました。その後、田中町から奉納され、現在では田中町から出ない場合、毎年12月1日に希望者の中から抽選を行い、翌年の奉納を決めています。

江戸時代には松井家家臣の鉄砲頭が勤めていました。平成17年に復活し、平成19年に祭礼絵巻と同様の袴姿になりました。

白和幣保存会 徳永 弘孝さん

本町三丁目 山園 司さん

宮之町 杉本 勝巳さん

ナンバーワンクラブ花馬奉納会 吉永 裕之さん

ブルーグラス 竹原 秀喜さん

昨年11月の全国山・鉦・屋台保存連合会総会で他の団体と交流し、後世に伝えていかなければいけないという思いがより一層湧き上がりました。これからも会員一体となって努力していきます。

ユネスコ無形文化遺産登録された「八代妙見祭の神幸行事」は、市民にとって身近なお祭りです。地元の祭りを次の世代に継承していかなければいけないという責任感を持って、これからも取り組んでいきます。

ユネスコ無形文化遺産登録されたことは、大変嬉しいことです。妙見祭を見ている人、神幸行列に参加している人みんながわくわくするように、頑張っていきたいです。これからも伝統を守り、次の世代に受け継いでいきます。

今年は、ユネスコ無形文化遺産登録後の初の神馬として携わることができ、誇りに思っています。神馬は神事もあるため、より一層、心を引き締め、これからも妙見祭に携わり、後輩の育成に努めていきます。

神馬奉行が乗っている馬を提供していることは、名誉なことで大変嬉しく思います。絵巻物の通りに復元した神幸行列は庄巻なので、これからもこのすばらしい祭りを末永く続けてもらいたいです。今後でもできる限り、八代妙見祭を盛り上げるために協力をしていきたいです。

- 1
- 獅子
- 2
- 花奴
- 3
- 木馬
- 4
- 鉄砲
- 5
- 毛槍
- 6
- 白和幣
- 7
- 籠
- 8
- 笠鉦菊慈童
- 9
- 神馬
- 10
- 神馬奉行
- 11
- 甲冑武者
- 12
- 大馬
- 13
- 大太鼓
- 14
- 神官
- 15
- 阿彌波神
- 16
- 火王・水王・風王
- 17
- 奏楽大太鼓
- 18
- 奏楽
- 19
- 四神旗
- 20
- 紙幣
- 21
- 三矢
- 22
- 対の槍
- 23
- 御太刀
- 24
- 神輿
- 25
- 長刀
- 26
- 紫髯
- 27
- 首翳
- 28
- 立傘
- 29
- 齋主
- 30
- 笠鉦本蝶蕪
- 31
- 笠鉦蘇鉄
- 32
- 笠鉦西王母
- 33
- 笠鉦狸々
- 34
- 笠鉦蜜柑
- 35
- 笠鉦恵比須
- 36
- 笠鉦松
- 37
- 笠鉦迦陵頻伽
- 38
- 流錫馬
- 39
- 龜蛇(ガメ)
- 40
- 飾馬(花馬)